

きれいになるためのヒアルロン酸選び7つのポイント

きれいになるための正しいヒアルロン酸選び7つのポイント

ポイント1

危ない！安価なバイオ技術製法！ヒアルロン酸ブームの裏側に隠されたその安全性は？

ポイント2

天然成分は安全なのか？

ポイント3

なぜヒアルロン酸と低分子ヒアルロン酸って違うのがあるの？その違いは？

ポイント4

潤いを保つための、製造方法とは？

ポイント5

きれいになるには、塗るタイプ？飲むタイプ？どっち？

ポイント6

ヒアルロン酸とコラーゲンの意外な関係とは？

ポイント7

本当に無添加がよいのか？

3つの新事実 その1

ヒアルロン酸は、半日で半分量に！

3つの新事実 その2

低分子だけでは吸収されなかった！

3つの新事実 その3

ヒアルロン酸とコラーゲンだけではダメだった！

最後に

乾燥肌を克服し、若々しいお肌になるために！

[お肌の駆けこみ寺TOP](#) > [きれいになるためのヒアルロン酸選び7つのポイント【ポイント1】](#)

ポイント1

危ない！安価なバイオ技術製法！ブームの裏側に隠されたその安全性は？

私がヒアルロン酸を選ぶのに、もっとも重要視したことがあります。

それは、安全性です。なぜなら、直接顔に塗ったり、飲んだりするヒアルロン酸ですので、やはり全てにおいて安全であることが一番大切と思ったからです。

ヒアルロン酸という成分は、もともと人間や動物の体内のあちこちに存在していて、皮膚をはじめ、目の中や心臓、関節などからだのいたる所にあり、いろいろな働きをしています。

そう、ヒアルロン酸は、もともと人間の体の中にある成分なのですね。そこで、皆さん

「人間の中にある成分 = 安全」

と思いませんか？

これはある意味、正しいのですが、大きな落とし穴があります。その落とし穴とは何かを、ご説明いたしますね。

さて、皆さんがお使いになっているまたは使いたいと思っているヒアルロン酸は、いったい何から作られているかご存知ですか？

最近では、生鮮食品でも生産者の顔が見える商品が販売されています。

しかし化粧品やサプリメント業界では、それがなかなか浸透していません。

サプリメントといっても口に入るものには変わりはないのですが。やはり人間でいう戸籍のように、ヒアルロン酸がどのように生まれてきたのかを確かめる必要があると考えました。

ヒアルロン酸にも、天然と人工があるってご存知でしたか？

そうです、ヒアルロン酸には、動物から取れる天然ヒアルロン酸と人工的に作る人工ヒアルロン酸があるんです。

ちなみにちょっと紹介すると

- ・動物から抽出したヒアルロン酸
- ・ストレプトコッカス等によるバイオ製法のヒアルロン酸
- ・乳酸菌によるバイオ製法のヒアルロン酸
- ・ミドリムシ、ゾウリムシ、アマーバーによる

ヒアルロン美潤



【初めての方限定】
先着100名様だけ！
ヒアルロン美潤体質確認パックのご紹介

[▶ お客様の嬉しい声](#)
[▶ お悩みの声\(＜\)＜](#)

[▶ Q&Aよくあるご質問](#)

[▶ 製造工場のみみつ](#)

[▶ 添加物に対する薬剤師 森の考え](#)



私たちが健康管理士がみなさまの健康をサポートします。

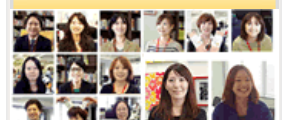
サイトの著者



はじめまして！“お肌の駆けこみ寺”のオーナーの薬剤師 森孝幸と申します。私の商品開発のきっかけは妻でした。私がなぜ“飲むヒアルロン酸”を販売するようになったのか。お時間がある方は一度ご覧下さいね。きっとあなたも「きれいになれる！」

薬剤師：森孝幸
薬剤師名簿登録番号
251462号

初めてのお客様へ



[▶ 会社の紹介](#)

[▶ STAFF紹介](#)

[▶ 個人情報に関する表](#)

単細胞生物によるバイオ製法のヒアルロン酸など

ここで重要視したいのが、

いったいどれが安全なのか？ です。

実は、今主流のヒアルロン酸製造は、バイオ製造です。
もう少し詳しく説明すると、微生物の
「ストレプトコッカス(溶血性連鎖球菌)」等が作り出す
ヒアルロン酸が大手化粧品会社から販売されているのです。
やはり理由は、大量にそして安価に製造できるからです。
もちろん、これらは大量に製造し、
他の化粧品メーカーにも販売しているわけです。

聞きなれない「ストレプトコッカス(溶血性連鎖球菌)」を
ご説明しますと、いくつかのグループに分けられるのですが、
参考にその1つには、その菌に感染すると、
急性咽喉炎、扁桃炎、中耳炎など症状をおこすような菌類なの
です。

「え？」耳を疑いましたか？

本当なんです。病気を起こすような菌類を使って、
バイオ製造されているのです。

「溶血性連鎖球菌(ようけつせいれんさきゆうきん)」で
一度、検索などしてみてください。
ちょっとビックリするような内容で、
大変怖い菌であることがわかります。

確かに、培養技術も向上し、
そのようなバイオ技術にて作られた商品の安全性も
十分に研究されて保証され、化粧品に入れることが許可されて
いますが、たとえそれが、培養においては許可された菌であった
としても食用のヒアルロン酸はもちろんのこと
顔に塗る化粧品においても、これを使用することには、
十分な注意が必要と思っています。

近年は遺伝子組み換えの大豆やトウモロコシのように、
その将来的な結果が明確に証明されていない物についても、
食べても大丈夫かどうか？ 輸入しても大丈夫かどうか？
など慎重に扱われる時代ですから、
なおさらバイオ技術で製造されたヒアルロン酸も
注意が必要であると思いませんか？

また、バイオ技術によって乳酸菌など安全な菌から作られる
ヒアルロン酸だから大丈夫と言ってもこれは現時点でのお話で
す。

遺伝子組み替え食品のような人工的につくられたバイオ製品
は、現在は安全と言われていても数十年後にもたらず

あなたのお肌や未来の子供たちへの影響は、
未知数なんです。

あなたの使おうとしているヒアルロン酸は、
あなたの肌や子供の未来に対して影響が未知数ではありません
か？

**私はそういった意味でも、
バイオ製法のヒアルロン酸は使いません。**

記

[通信販売法](#)

[お支払いについて](#)

[サイトマップ](#)

各種お問合せ



 **インターネットで**

下記お問合せフォームからご質問・ご注文後のお問い合わせなどを承っております。

[お問合せフォームへ](#)

 **お電話で**

ヒアルロン酸やECM・EIに関するご質問をはじめ、メールアドレスをお持ちでないお客さまからのご注文も承っております。

0120-14-4871

受付時間: 10:30~17:00
(土日祝日休み)

営業カレンダー

色のついている日には商品出荷、電話・メールでの注文確認、メールサポートは休みです。

会員様限定サイト

健康
いきいき
ライフスタイル
サイトはこちら▶



旧サイト名: 健康いきいき倶楽部

[<< 前ページ](#)

[次ページ >>](#)

ポイント1 [危ない！安価なバイオ技術製法！
ブームの裏側に隠されたその安全性は？](#)

ポイント2 [天然成分は安全なのか？](#)

ポイント3 [なぜヒアルロン酸と低分子ヒアルロン酸っていうの？その違いは？](#)

ポイント4 [潤いを保つための、製造方法とは？](#)

ポイント5 [きれいになるためには、塗るタイプ？飲むタイプ？
どっち？](#)

ポイント6 [ヒアルロン酸とコラーゲンの意外な関係とは？](#)

ポイント7 [本当に無添加がよいのか？](#)

**3つの新事実
その1** [ヒアルロン酸は、半日で半分量に！](#)

**3つの新事実
その2** [低分子だけでは吸収されなかった！](#)

**3つの新事実
その3** [ヒアルロン酸とコラーゲンだけではダメだった！](#)

最後に [乾燥肌を克服し若々しいお肌になるために！](#)

[TOPページ](#)

[このページの上へ](#)